

2020年3月期  
(2019年度)  
決算ハイライト



 **りそなホールディングス**  
RESONA

2020年5月12日

# 2020年3月期 決算の概要

## ■ 親会社株主に帰属する当期純利益：1,524億円

- 前期比△227億円（△12.9%）  
前期計上の一時利益\*1除き+171億円（+12.6%）
- 通期目標\*2比 95.2%

## ■ 実質業務純益：2,419億円 前期比+163億円（+7.2%）

- 業務粗利益：6,586億円 前期比+145億円（+2.2%）

- 国内預貸金利益：前期比△110億円  
貸出金平残：+1.35%、預貸金利回り差：△0.04%  
**計画インライン、利回り低下幅の縮小継続**
- フィー収益：前期比△35億円、フィー収益比率：28.8%  
**投信、保険が減益も、FW、決済等の注力ビジネスは堅調**

- 債券関係損益（先物込）：前期比+191億円  
**前年度ポートフォリオ健全化の反動および、  
タイミングを捉えた売買益積み上げにより増加**

- 経費：△4,171億円 前期比+34億円（改善）

人件費・物件費共に減少、経費率 63.3%（前期比△1.9%）と改善

## ■ 与信費用：△229億円 前期比△216億円

前期戻り益反動減及びアパマンポートに係る予防的引当、  
一部大口の発生等により費用増

## ■ 2021/3期（業績目標）

親会社株主に帰属する当期純利益：1,200億円（前期比△324億円）

## ■ 新中期経営計画スタート

～レゾナンス・モデルの確立～を公表（計画期間 2020～2022年度）

HD連結（億円）	2020/3期 (a)	前期比		2021/3期 目標 (d)
		(b)	増減率 (c)	
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b> (1)	<b>1,524</b>	<b>△227</b>	<b>△12.9%</b>	<b>1,200</b>
1株当たり当期純利益（EPS、円） (2)	66.27	△9.36	△12.3%	
1株当たり純資産（BPS、円） (3)	904.60	△6.57	△0.7%	
株主資本ROE*3 (4)	8.91%	△1.93%		
業務粗利益 (5)	6,586	+145	+2.2%	
資金利益 (6)	4,311	△47		
うち国内預貸金利益*4 (7)	3,426	△110		
フィー収益 (8)	1,902	△35		
フィー収益比率 (9)	28.8%	△1.2%		
信託報酬 (10)	190	△1		
役員取引等利益 (11)	1,711	△34		
その他業務粗利益 (12)	373	+228		
うち債券関係損益（先物込） (13)	113	+191		
経費（除く銀行臨時処理分） (14)	△4,171	+34	+0.8%	
経費率 (15)	63.3%	△1.9%	（改善）	
<b>実質業務純益</b> (16)	<b>2,419</b>	<b>+163</b>	<b>+7.2%</b>	
株式等関係損益（先物込） (17)	93	+22		
与信費用 (18)	△229	△216		
その他の臨時・特別損益 (19)	△162	△233		
<b>税金等調整前 当期純利益</b> (20)	<b>2,121</b>	<b>△264</b>	<b>△11.0%</b>	
法人税等合計 (21)	△567	+5		
非支配株主に帰属する 当期純利益 (22)	△30	+31		

\*1. KMFG統合関連一時利益（負ののれん等）398億円 \*2. 2020/3期 通期業績目標1,600億円

\*3. 親会社株主に帰属する当期純利益÷株主資本（期首・期末平均）

\*4. 国内預貸金利益：銀行合算、銀行勘定（譲渡性預金を含む） \*5. 利益にマイナスの場合は「△」を付して表示

# 2020年3月期 損益内訳

(億円)	HD連結		銀行合算		りそな銀行 (e)	埼玉りそな銀行 (f)	KMFG銀行 合算 (g)	連単差 (a)-(c)
	(a)	前期比 (b)	(c)	前期比 (d)				
<b>業務粗利益</b> (1)	<b>6,586</b>	<b>+145</b>	<b>6,053</b>	<b>+123</b>	<b>3,552</b>	<b>1,145</b>	<b>1,355</b>	<b>533</b>
資金利益 (2)	4,311	△47	4,268	△76	2,314	852	1,101	42
うち国内預貸金利益 (3)			3,426	△110	1,734	717	974	
うち投資信託解約損益 (4)	35	+49	34	+54	7	△1	28	1
フィー収益 (5)	1,902	△35	1,424	△49	976	242	204	478
フィー収益比率 (6)	28.8%	△1.2%	23.5%	△1.3%	27.5%	21.1%	15.0%	
信託報酬 (7)	190	△1	190	△1	190			△0
役務取引等利益 (8)	1,711	△34	1,233	△48	786	242	204	478
その他業務粗利益 (9)	373	+228	360	+249	260	50	49	12
うち債券関係損益(先物込) (10)	113	+191	117	+215	66	28	22	△4
経費(除く銀行臨時処理分) (11)	△4,171	+34	*1 △3,934	+41	△2,097	△738	*1△1,098	△237
経費率 (12)	63.3%	(改善) △1.9%	64.9%	(改善) △2.0%	59.0%	64.4%	81.0%	
持分法による投資損益 (13)	5	*2 △16						5
<b>実質業務純益</b> (14)	<b>2,419</b>	<b>+163</b>	<b>2,119</b>	<b>+165</b>	<b>1,454</b>	<b>407</b>	<b>257</b>	<b>300</b>
コア業務純益(除く投資信託解約損益) *3 (15)			<b>1,905</b>	<b>△87</b>	<b>1,337</b>	<b>363</b>	<b>204</b>	
株式等関係損益(先物込) (16)	93	+22	187	+67	103	29	54	△93
与信費用 (17)	△229	△216	△188	△189	△95	△44	△47	△41
その他の臨時・特別損益 (18)	△162	*4 △233	△162	+151	8	△29	△140	0
<b>税引前(税金等調整前) 当期純利益</b> (19)	<b>2,121</b>	<b>△264</b>	<b>1,955</b>	<b>+194</b>	<b>1,470</b>	<b>362</b>	<b>123</b>	<b>165</b>
法人税等合計 (20)	△567	+5	△530	△28	△391	△99	△39	
非支配株主に帰属する 当期純利益 (21)	△30	+31						
<b>(親会社株主に帰属する) 当期純利益</b> (22)	<b>1,524</b>	<b>△227</b>	<b>1,425</b>	<b>+166</b>	<b>1,079</b>	<b>262</b>	<b>83</b>	

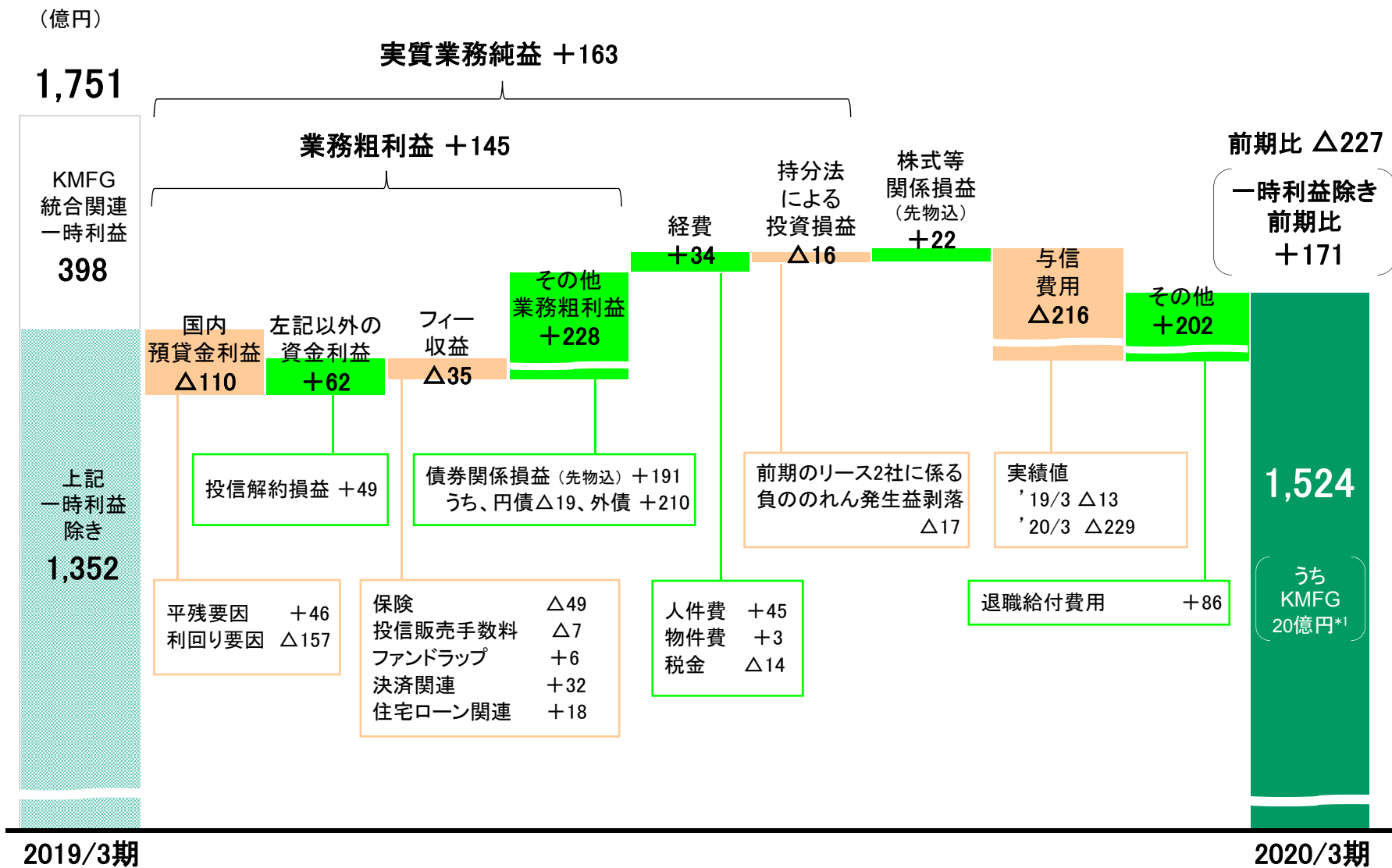
\*1. KMBの旧びわこ銀行のれん償却額(△7億円)を除く \*2. 前期計上のリース会社2社の持分法適用会社化に伴う負のれん発生益剥落要因(△17億円)を含む

\*3. 実質業務純益-投資信託解約損益-債券関係損益(現物)

\*4. 前期計上のKMFG統合関連一時利益の剥落(△398億円)、KMFG統合関連費用の増加(△112億円)を含む

# 親会社株主に帰属する当期純利益の前期比増減要因

HD連結



\*1. KMFG連結純利益(39) × 51.2%

# 貸出金・預金の平残・利回り(国内)

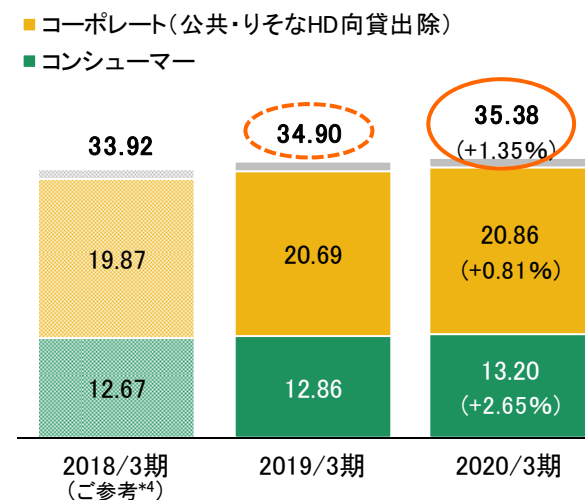
銀行合算

## 貸出金・預金の平残、利回り、利回り差

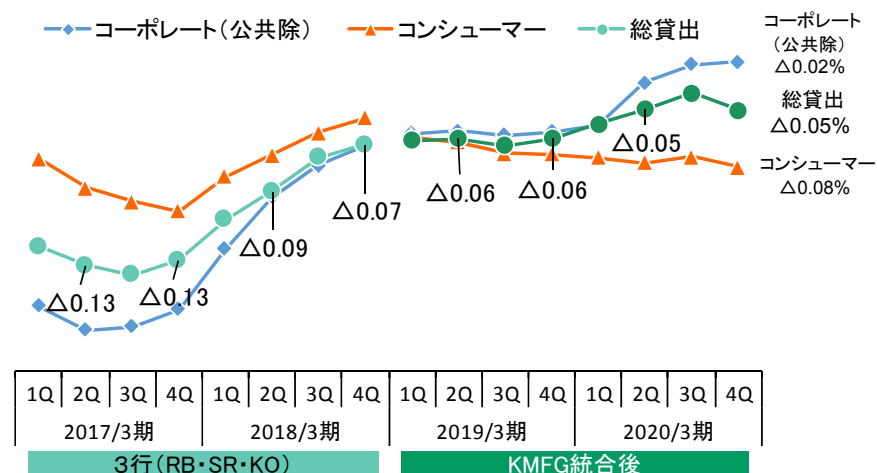
平残：兆円 収益・費用：億円		2020/3期		2021/3期	
		実績 (a)	前期比*3 (b)	計画 (c)	前期比*3 (d)
貸出金	平残 (1)	35.38	+1.35%	35.78	+1.12%
	利回り (2)	0.98%	△0.04%	0.94%	△0.04%
	収益 (3)	3,498	△115	3,392	△105
コーポレート部門 (公共・りそなHD向 貸出除)*1	平残 (4)	20.86	+0.81%	20.94	+0.40%
	利回り (5)	0.84%	△0.04%	0.82%	△0.02%
一般貸出	平残 (6)	17.18	+1.49%	17.35	+1.00%
	利回り (7)	0.78%	△0.03%	0.76%	△0.02%
コンシューマー 部門*2	平残 (8)	13.20	+2.65%	13.42	+1.64%
	利回り (9)	1.25%	△0.07%	1.19%	△0.05%
預金+NCD	平残 (10)	52.12	+2.58%	52.86	+1.41%
	利回り (11)	0.01%	△0.00%	0.01%	△0.00%
	費用 (12)	△72	+4	△64	+7
預貸金	利回り差 (13)	0.97%	△0.04%	0.93%	△0.03%
	利益 (14)	3,426	△110	3,328	△98

## 貸出金平残、利回り推移

【貸出金平残(兆円)】( )内は前期比増減率



【貸出金利回り 前同比(%)】



\*1. 社内管理計数、コーポレート部門：一般貸出 + アpartmentマンションローン  
 \*2. 社内管理計数、コンシューマー部門：自己居住用住宅ローン + 消費性ローン  
 \*3. 平残は増減率 \*4. KMFG統合後計数に補正

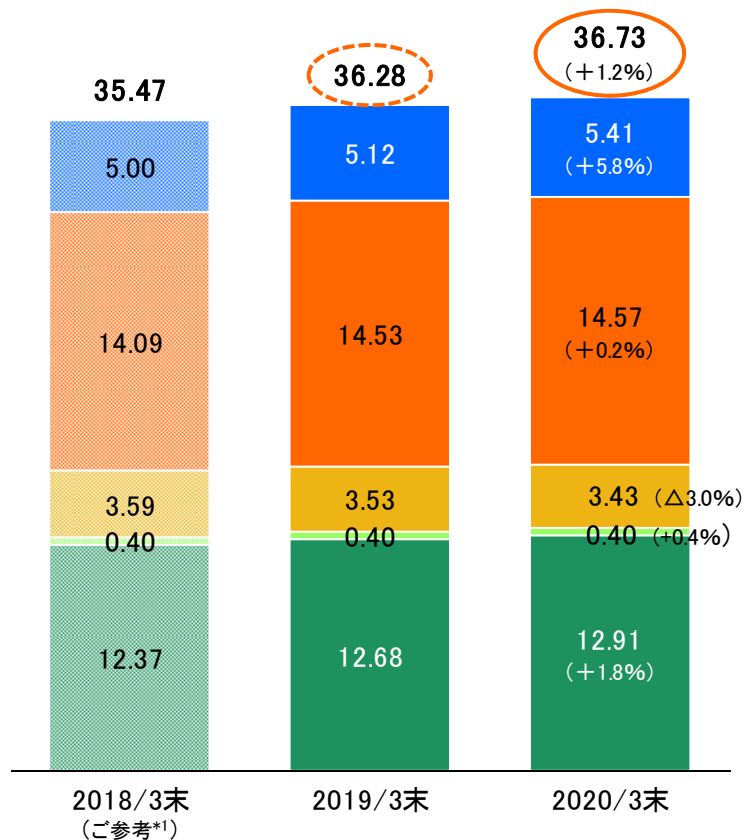
# 貸出金・預金末残

銀行合算

## 貸出金末残

兆円、()内は  
前期比増減率

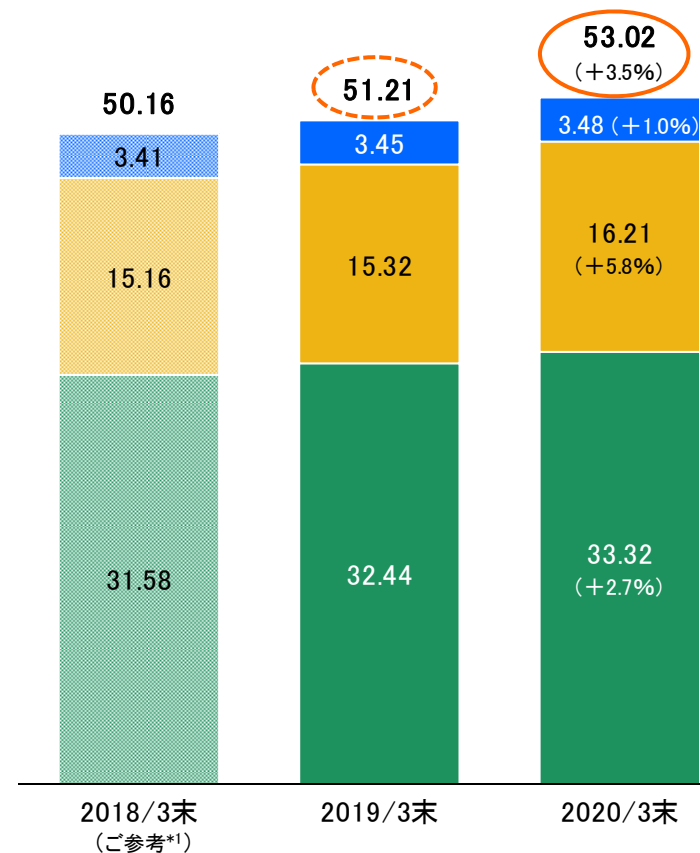
- コーポレート部門(大企業・その他)
- コーポレート部門(中小企業)
- コーポレート部門(アパートマンションローン)
- コンシューマー部門(消費性ローン)
- コンシューマー部門(自己居住用住宅ローン)



## 預金末残

兆円、()内は  
前期比増減率

- その他
- 法人
- 個人



\*1. KMFG統合後計数に補正

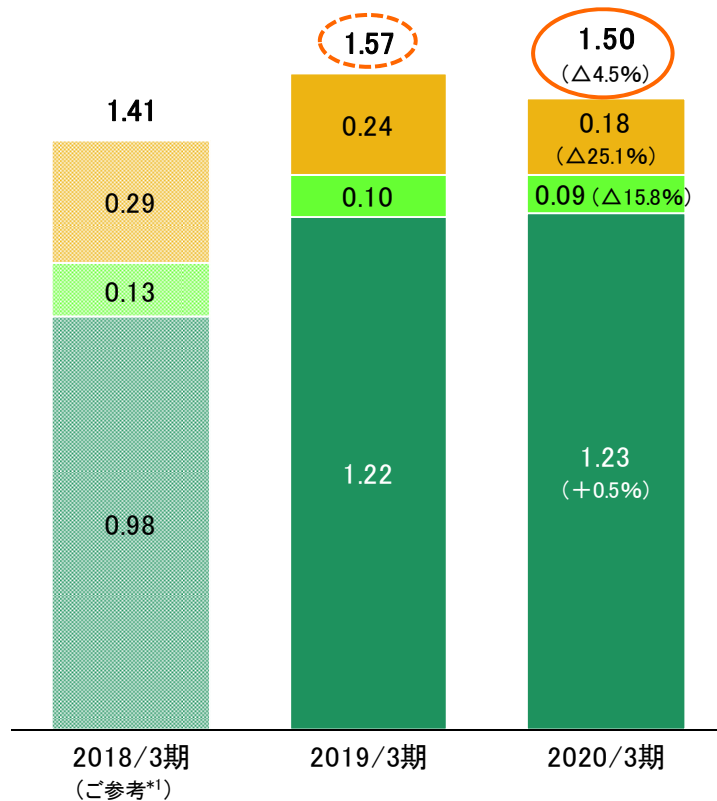
# 住宅ローンビジネス

銀行合算

## 住宅ローン実行額

兆円、()内は  
前期比増減率

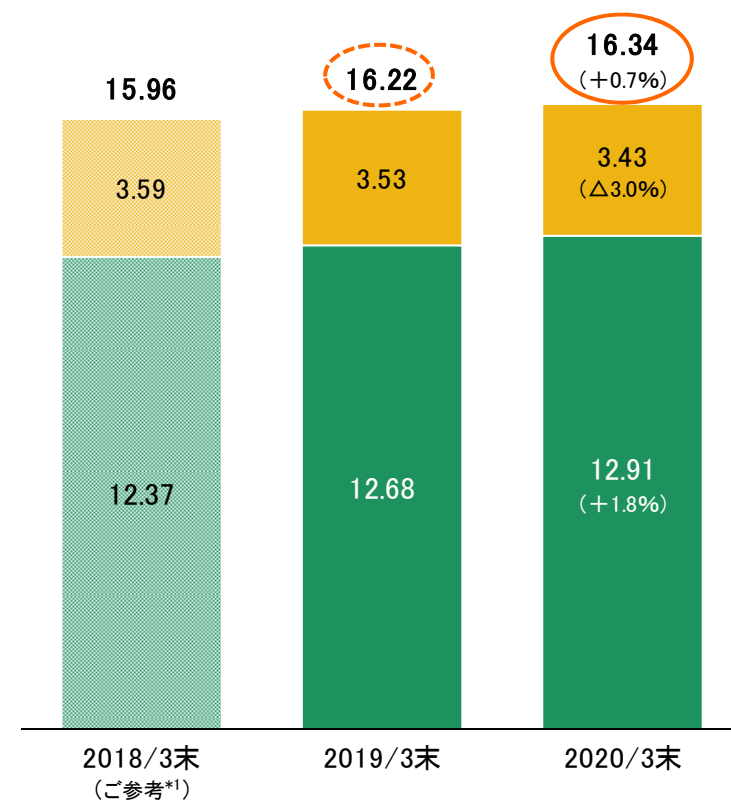
- アパートマンションローン
- フラット35
- 自己居住用住宅ローン



## 住宅ローン末残

兆円、()内は  
前期比増減率

- アパートマンションローン
- 自己居住用住宅ローン



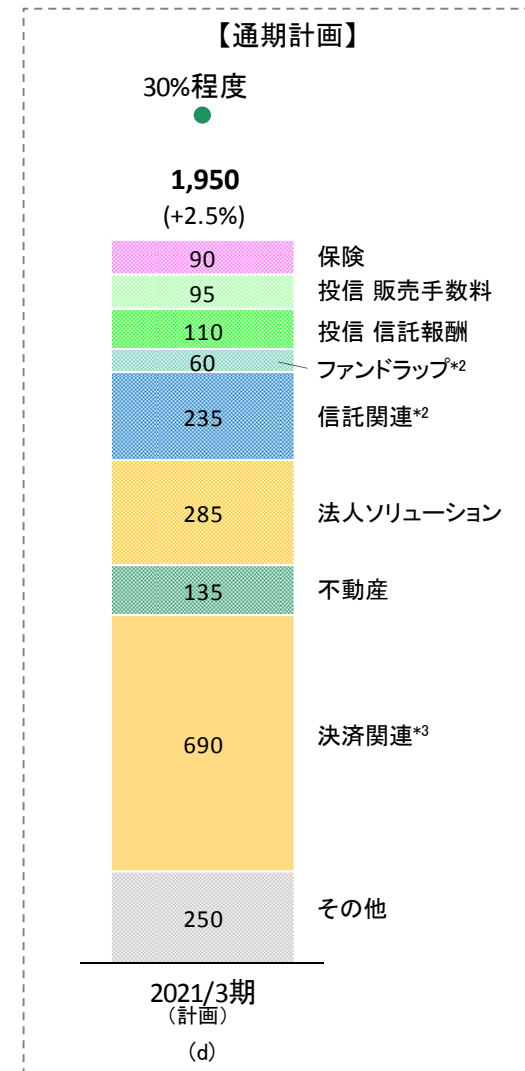
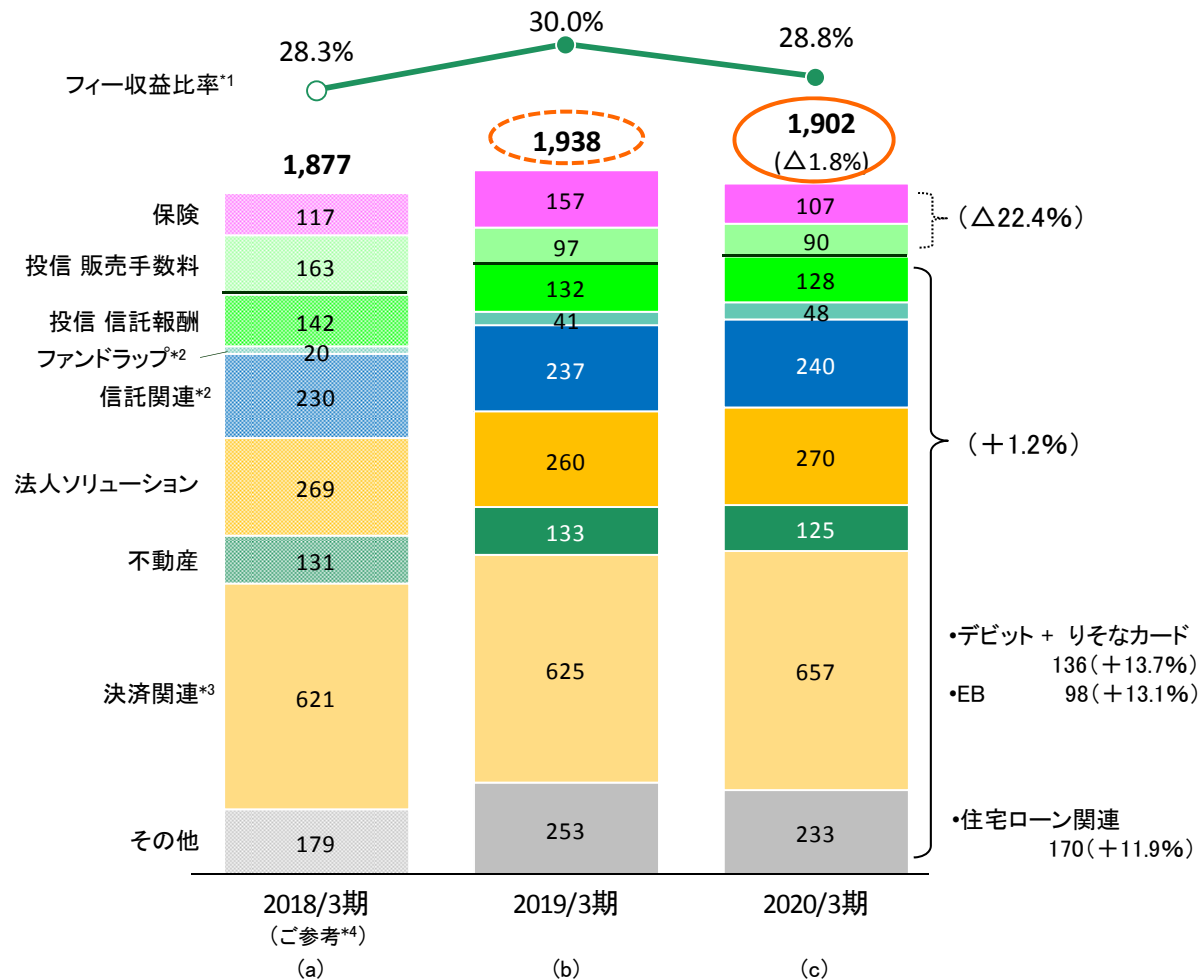
\*1. KMFG統合後計数に補正

# フィー収益

■ 2020/3期のフィー収益比率\*1は28.8%

■ 保険、投信販売手数料は減速も、ファンドラップ(前期比+16.8%)、決済関連(同+5.1%)、法人ソリューション(同+4.0%)が堅調

億円、()内は  
前期比増減率



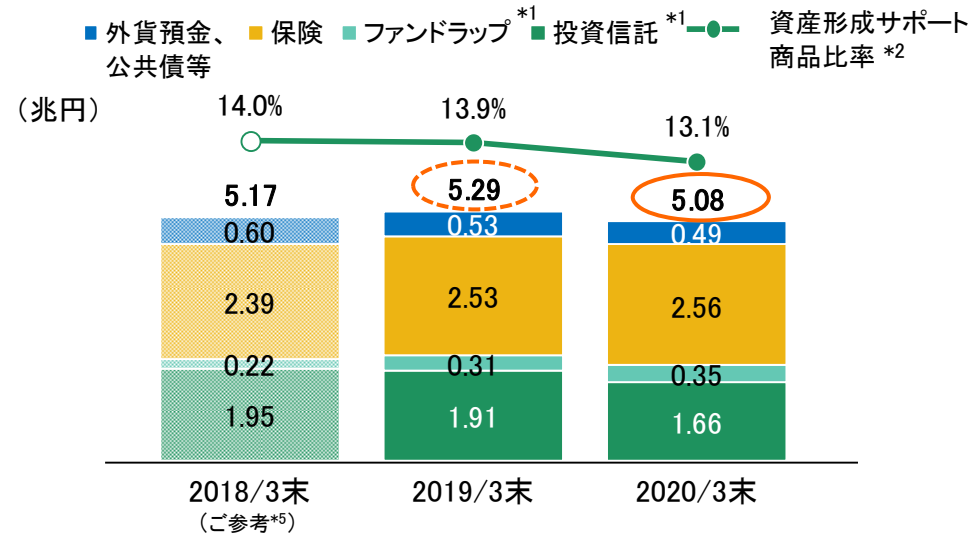
\*1. (役務取引等利益+信託報酬)／業務粗利益    \*2. リそなアセットマネジメントの役務利益を含む  
 \*3. 内為、口振、EB、デビットおよびりそな決済サービス、りそなカードの役務利益    \*4. KMFG統合後計数に補正



# 主要なフィージネス(1) (資産形成サポートビジネス)

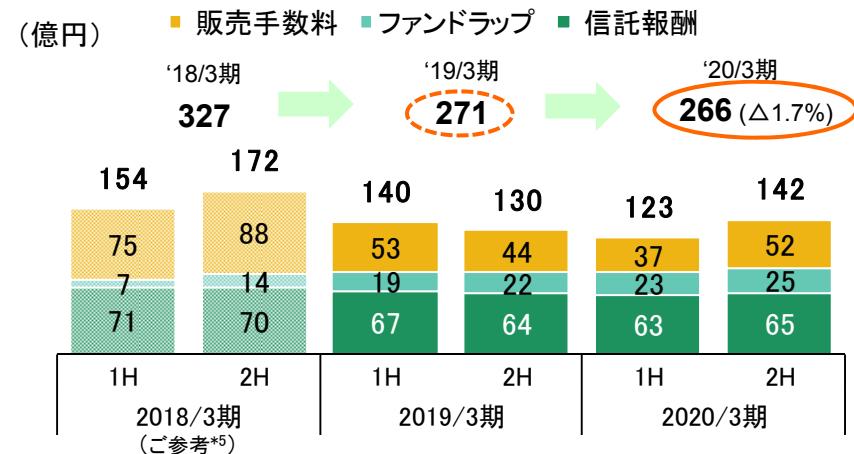
HD連結

## 個人向け資産形成サポート商品残高

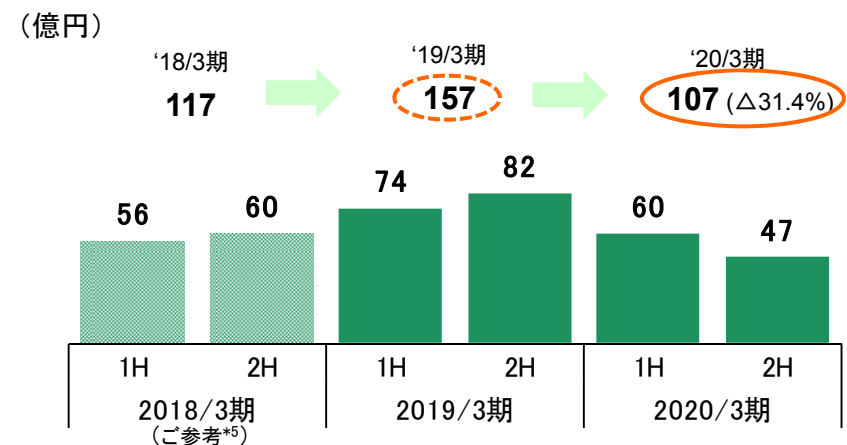


- FW(ファンドラップ)残高\*1:  
'20/3末 3,521億円 (法人込 3,904億円)
- 投資信託・FWの増減: '20/3期 約△2,050億円  
● うち純流入額(販売-解約-償還): 約+1,360億円
- 投信・FW、保険利用先数: '20/3末 92.7万先  
● うちNISA口座数\*3: 36.5万口座(前期比+8.2%)
- iDeCo加入者数\*4: '20/3末 11.8万先(前期比+19.4%)

## 投資信託・ファンドラップ収益



## 保険収益



\*1. 時価ベース残高 \*2. 個人向け資産形成サポート商品残高/(個人向け資産形成サポート商品残高+個人預金(円貨))  
\*3. NISA、ジュニアNISA、積立NISA \*4. iDeCo加入者+運用指図者 \*5. KMFG統合後計数に補正

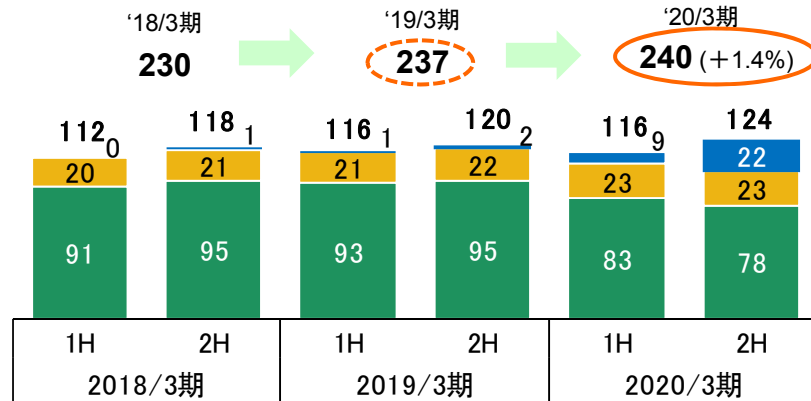
# 主要なフィージネス(2) (信託・法人ソリューション・不動産)

HD連結

## 信託業務関連収益

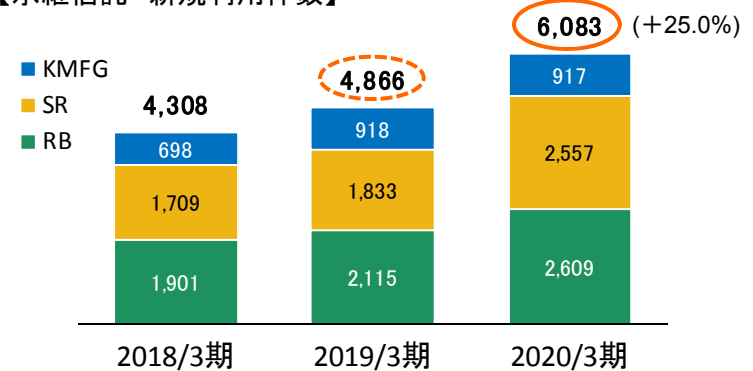
(億円)

■ リソナアセットマネジメント ■ 承継信託 ■ 年金・証券信託



■ 信託機能のグループ展開を通じた収益機会の拡大

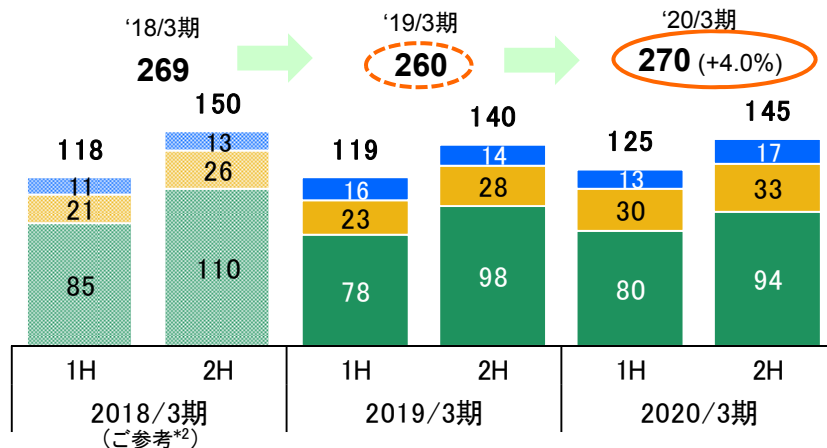
【承継信託 新規利用件数】



## 法人ソリューション収益

(億円)

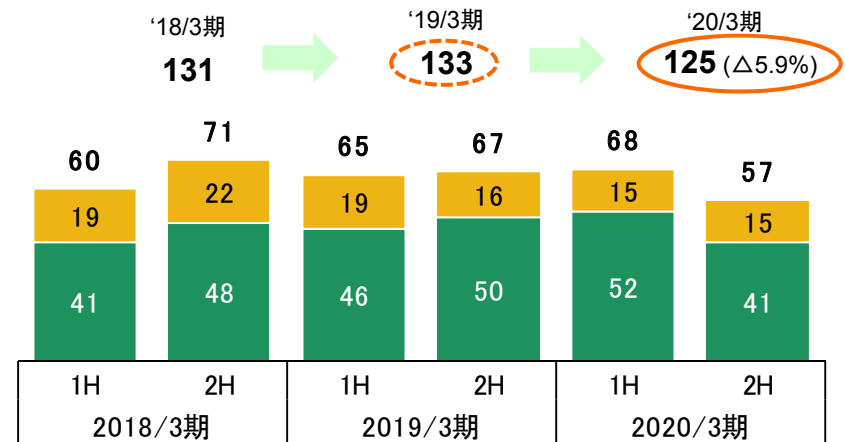
■ M&A ■ 私募債 ■ コミット/シローン/コベナンツ



## 不動産業務収益\*1

(億円)

■ 法人 ■ 個人



\*1. 不動産ファンド出資関連収益除く

\*2. KMFG統合後計数に補正

# 与信費用、不良債権

## 与信費用

(億円)	2018/3期 (ご参考*1) (a)	2019/3期 (b)	2020/3期 (c)	2021/3期 計画 (d)
HD連結 (1)	101	△13	△229	△500

銀行合算 (2)	147	1	△188	△420
一般貸倒引当金 (3)	90	112	△47	
個別貸倒引当金等 (4)	57	△110	△140	
新規発生 (5)	△222	△313	△271	
回収・上方遷移等 (6)	279	202	131	

連単差 (7)	△46	△14	△41	△80
うち、住宅ローン保証 (8)	0	30	△23	
うち、リそなカード <sup>®</sup> (9)	△23	△22	△21	

### <与信費用比率>

		(bps)			
HD連結*2 (10)	2.8	△0.3	△6.2	△13.4	
銀行合算*3 (11)	4.0	0.0	△5.0	△11.1	

\*正の値は戻入を表す

\*1. KMFG統合後計数に補正

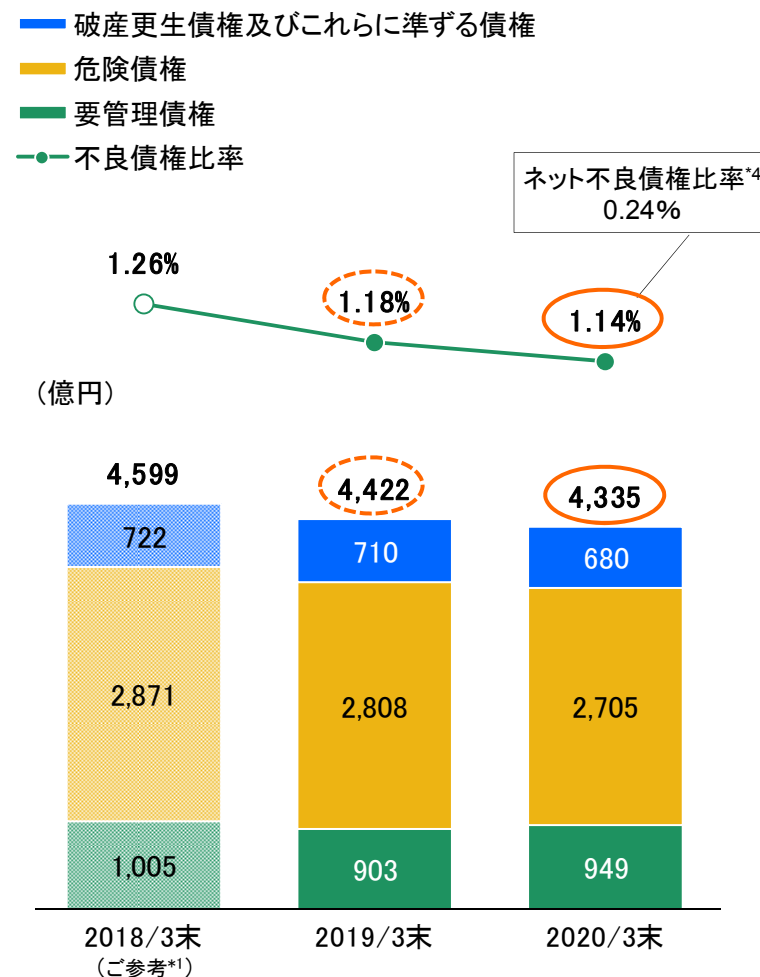
\*2. HD連結与信費用 / (連結貸出金 + 連結支払承諾見返未残) (期首・期末平均)

\*3. 銀行合算与信費用 / 金融再生法基準与信残高 (期首・期末平均)

\*4. 担保/保証・引当金控除後不良債権比率

## 不良債権残高・比率(銀行合算)

(金融再生法基準)



## 有価証券\*1

(億円)	2018/3末 (ご参考*2) (a)	2019/3末 (b)	2020/3末 (c)	評価差額 (d)
その他有価証券 (1)	29,181	25,665	30,557	4,207
株式 (2)	3,654	3,538	3,369	4,228
債券 (3)	15,327	11,882	17,228	△ 30
国債 (4)	3,251	461	4,596	△ 64
(デュレーション) (5)	6.5年	6.7年	14.8年	-
(BPV) (6)	△2.1	△0.3	△6.8	-
地方債・社債 (7)	12,075	11,420	12,631	34
その他 (8)	10,199	10,245	9,959	9
外国債券 (9)	3,892	4,723	5,541	181
(デュレーション) (10)	8.4年	5.3年	2.4年	-
(BPV) (11)	△3.1	△1.8	△0.0	-
国内投資信託 (12)	6,080	5,406	4,350	△185
(評価差額) (13)	6,728	5,983	4,207	
満期保有債券 (14)	20,571	21,274	19,684	281
国債 (15)	15,655	15,395	11,442	205
(評価差額) (16)	520	471	281	

- 3資産の評価差額 (4)+(9)+(12)  
'18/3末\*2 △212 ⇒ '19/3末 +24 ⇒ '20/3末 △69 (億円)

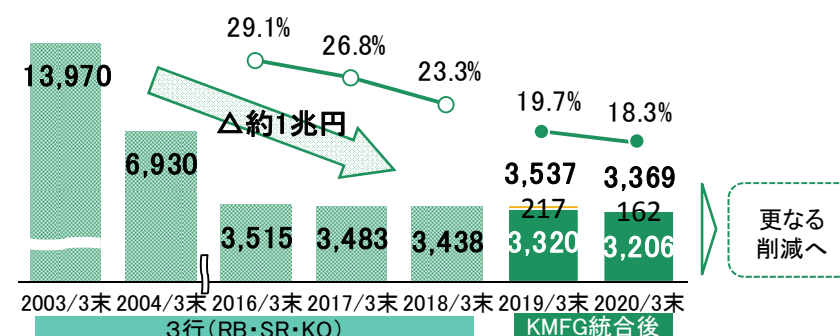
- CLO: ゼロ

## 政策保有株式

- 2020/3期(実績)  
削減額(上場分・取得原価): 169億円、売却益(同): 222億円  
損益分岐点株価(日経平均ベース): 7,100円程度

### 【政策保有株式残高】

● CET1(OCI除き)比 ■ RB,SR ■ KMB,MB (億円)



### ■ 新中計期間における削減計画

- 新計画にて残高圧縮を加速
- 保有の是非は中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンを検証により判断

従来計画	新計画	累計
'16/3~'21/3(5年間) △350億円 '20/3末迄実績 △326億円…① (4年間で達成率93%)	'20/3~'23/3 (3年間) △300億円…②	'16/3~'23/3 (7年間) 累計 △626億円…①+②
CET1(OCI除き)対比 10%台の計画に対し '20/3末実績18.3%	CET1(有価証券評価差額金除き)対比 15%程度	

\*1. 取得原価、時価のある有価証券 \*2. KMFG統合後数値に補正

# 自己資本比率

HD連結

- 2020/3末の自己資本比率(国内基準)は11.17%、普通株式等Tier1比率※(国際統一基準)は10.54%と十分な水準を維持  
※その他有価証券評価差額金除き

## 国内基準

(億円)	2019/3	2020/3	増減
<b>自己資本比率 (1)</b>	<b>10.10%</b>	<b>11.17%</b>	<b>+1.07%</b>
自己資本の額 (2)	19,259	19,470	+ 210
コア資本に係る基礎項目の額 (3)	19,781	20,124	+ 342
うち普通株式に係る株主資本の額 (4)	16,367	17,334	+ 967
うち調整後非支配株主持分の額 (5)	2,362	2,211	△150
うち劣後債等 (経過措置による算入) (6)	970	604	△365
コア資本に係る調整項目の額 (7)	521	653	+ 132
リスク・アセット等 (8)	190,620	174,277	△16,343

### ■ 自己資本の額の増減要因

- 株主資本の額 +967億円
  - ・ 親会社株主に帰属する当期純利益 +1,524億円
  - ・ 期中配当額・配当予定額 △483億円
  - ・ 自己株式の取得 △100億円
- 劣後債の資本算入額減少 △365億円

### ■ リスク・アセット等の増減要因

- KMBのIRB移行及びMBの連結IRB移行 △11,356億円
- パラメータ低下等 △2,514億円
- 投資信託の残高減少 △4,600億円

## ■ グループ銀行、銀行持株会社

国内基準	りそな (連結)	埼玉りそな (単体)	KMFG (連結)
自己資本比率	10.49%	14.13%	8.05%

## (参考) 国際統一基準

(億円)	2019/3	2020/3	増減
その他有価証券評価差額金除き (9)	9.30%	10.54%	+1.24%
普通株式等Tier1比率 (10)	11.47%	12.28%	+0.81%
Tier1比率 (11)	11.54%	12.52%	+0.98%
総自己資本比率 (12)	12.21%	13.06%	+0.85%
普通株式等Tier1資本の額 (13)	22,392	21,547	△845
基礎項目 (14)	23,093	22,329	△764
うち普通株式に係る株主資本の額 (15)	16,367	17,334	+ 967
うちその他有価証券評価差額金 (16)	4,239	3,061	△1,177
うち調整後非支配株主持分の額 (17)	2,227	1,787	△440
調整項目の額 (18)	701	781	+ 80
その他Tier1資本の額 (19)	118	409	+ 290
Tier1資本の額 (20)	22,511	21,956	△554
Tier2資本の額 (21)	1,306	954	△351
総自己資本の額(Tier1+Tier2) (22)	23,817	22,911	△906
リスク・アセット等 (23)	195,066	175,334	△19,732

### (参考)

- KMB・MBは2019/6末よりF-IRB適用

- バーゼル3最終化の影響

(その他有価証券評価差額金除き) 普通株式等Tier1比率 9.1%程度※

※ 2020/3末実績値(9)に対し、バーゼル3最終化(SA・資本フロア見直し等・完全実施基準)によるリスク・アセット増加のみを反映した試算値

# 2021年3月期 業績目標

HD連結・銀行合算

## HD連結

(億円)	通期 目標	前期比
親会社株主に帰属する 当期純利益 (1)	1,200	△324
KMFG *1 (2)	30	
その他連単差 (3)	145	

## 1株当たり普通配当

	1株当たり 配当金	前期比
普通配当(年間予想) (4)	21.0円	-
うち中間配当 (5)	10.5円	-

## 銀行合算/各社単体

(億円)	銀行合算	
	通期 目標	前期比
業務粗利益 (6)	5,810	△243
経費 (7)	△3,975	△41
実質業務純益 (8)	1,835	△284
株式等関係損益(先物込) (9)	235	+48
与信費用 (10)	△420	△232
税引前当期純利益 (11)	1,525	△430
当期純利益 *2 (12)	1,075	△350

りそな銀行		埼玉りそな銀行		KMFG 銀行合算	
通期 目標	前期比	通期 目標	前期比	通期 目標	前期比
3,365	△187	1,115	△30	1,330	△25
△2,095	+2	△760	△22	△1,120	△22
1,270	△184	355	△52	210	△47
175	+72	35	+6	25	△29
△220	△125	△75	△31	△125	△78
1,180	△290	270	△92	70	△53
835	△244	190	△72	50	△33

\*1. HDの出資比率(51%)を勘案後

\*2. 当期純利益は非支配株主に帰属する当期純利益が控除されておりません。

# (ご参考) 新型コロナウイルスの影響(与信費用)

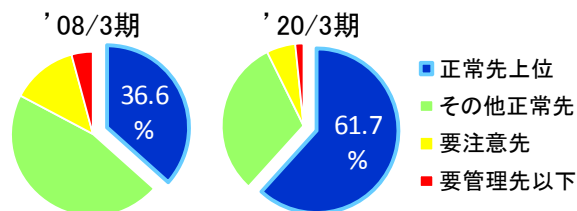
コロナ影響長期化を想定した予防的対応を含め、幅広い業種に影響が及ぶことを想定

■ 連結与信費用 '21/3期計画: △ 500億円 (前期比 △ 270億円)、与信費用比率 △ 13.4 bps (同 △ 7.2 bps)

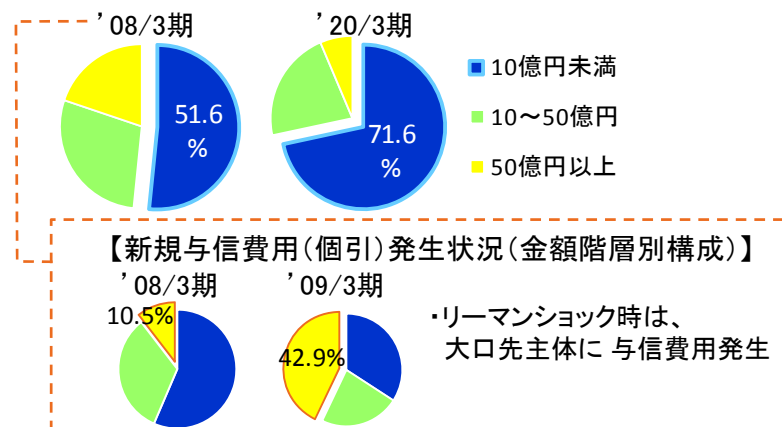
一般事業法人 : リーマンショック時との対比では相対的に高いリスク耐性

危機の性質	リーマンショック時	今回
	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融危機、急激な信用収縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済活動の急速な停滞</li> <li>事態収束までの資金繰りを官民で全面サポート、一定のリスクコントロールが可能と想定</li> </ul>

● 格付け構成\*1 : 与信ポートの質的改善



● 要注意先以下の金額階層別構成\*1 : 小口分散の進展

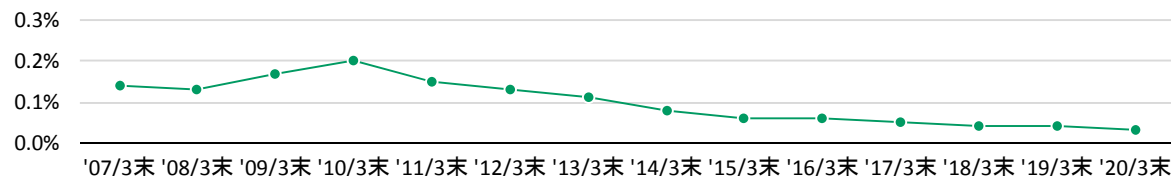


● 中小企業の安全性指標の変遷: 健全性が改善

	'08/1~3月	'19/10~12月
自己資本比率*2	30.4%	41.7%
有利子負債比率*2	31.7%	25.1%

住宅ローン : 厳格な審査モデルを背景に形成された良質なポートフォリオ

【住宅ローンの最終ロス率(住宅ローン保証子会社代位弁済率 × (1 - 代位弁済後回収率)の推移】



	'08/3末	'09/3末	'10/3末	'20/3末
代弁率	100	113	121	33
回収率	100	93	86	111

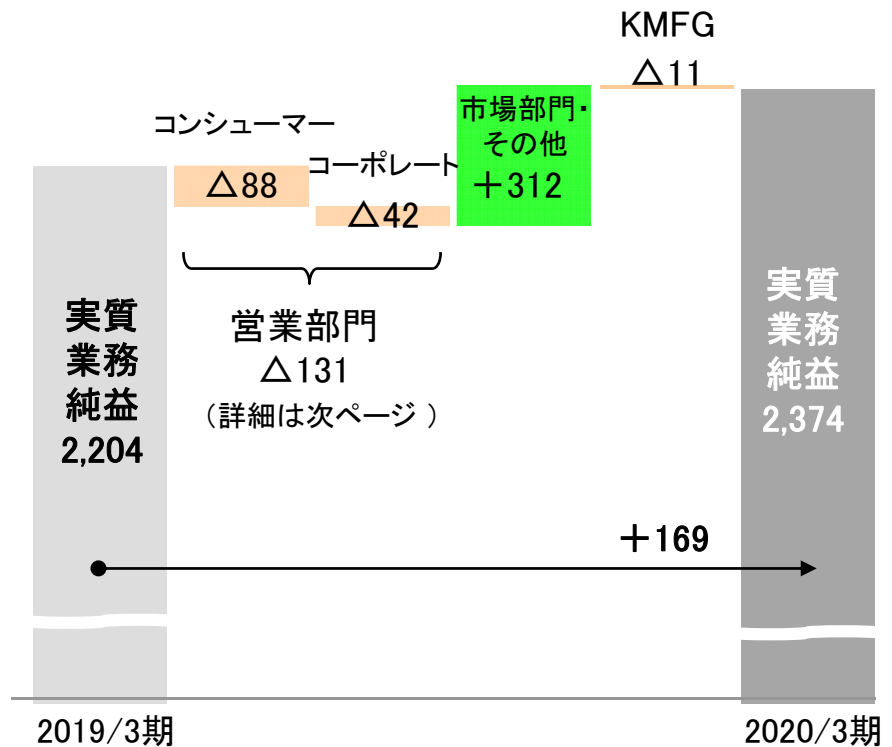
'08/3期を100として指数化

\*1. RB+SR、与信額ベース \*2. 財務省/法人企業統計より作成、全産業(除く金融・保険業)、資本金1千万~1億円、4四半期後方移動平均

# (ご参考)事業部門別の損益概要

(億円)		2020/3期	前期比
営業部門	業務粗利益 (1)	4,556	△134
	経費 (2)	△2,983	+3
	実質業務純益 (3)	1,573	△131
コンシューマー	業務粗利益 (4)	1,961	△98
	経費 (5)	△1,520	+9
	実質業務純益 (6)	440	△88
コーポレート	業務粗利益 (7)	2,595	△36
	経費 (8)	△1,462	△6
	実質業務純益 (9)	1,133	△42
市場部門・その他	業務粗利益 (10)	559	+325
	経費 (11)	△52	+2
	実質業務純益 (12)	511	+312
KMFG	業務粗利益 (13)	1,424	△39
	経費 (14)	△1,136	+28
	実質業務純益 (15)	288	△11
合計	業務粗利益 (16)	6,541	+151
	経費 (17)	△4,171	+34
	実質業務純益 (18)	2,374	+169

(億円)



## 管理会計における計数の定義

1. 「営業部門」、「市場部門・その他」はKMFG連結子会社を除くHD連結子会社の計数
2. 「市場部門」の業務粗利益には株式等関係損益の一部を、「その他」には経営管理部門の計数等を含む



# (ご参考) 営業部門の損益概要

HD連結 (KMFG連結除)

## コンシューマー部門

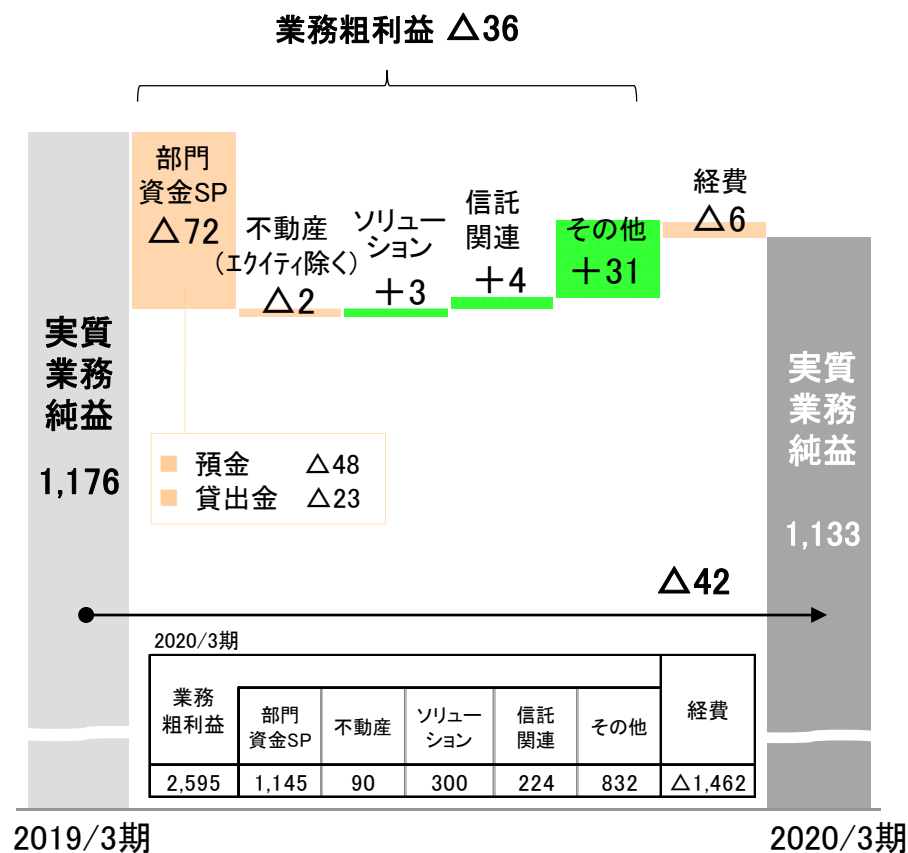
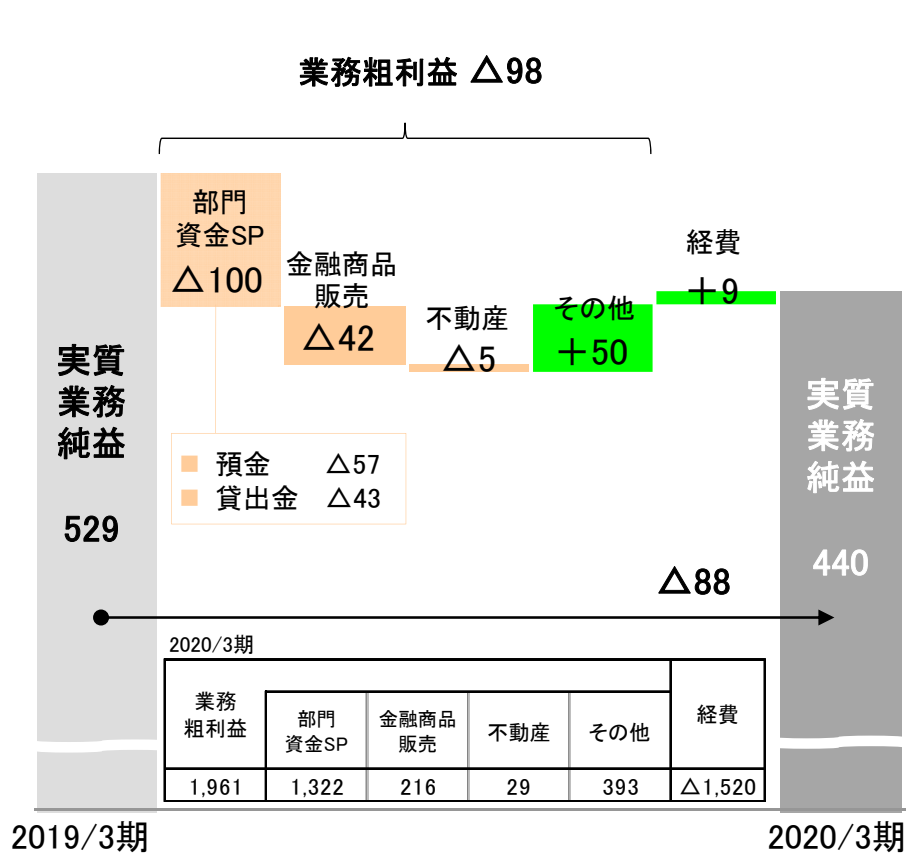
## コーポレート部門

■ 実質業務純益は前期比88億円の減益

■ 実質業務純益は前期比42億円の減益

(億円)

(億円)



- 
- 本資料における表記の定義は下記の通りです。

[HD] リソナホールディングス、[RB] リソナ銀行、[SR] 埼玉りそな銀行、  
[KMFG] 関西みらいフィナンシャルグループ、[KMB] 関西みらい銀行※、[MB] みなと銀行  
※[KU] 関西アーバン銀行と [KO] 近畿大阪銀行 が2019年4月1日に合併

---

計数には社内管理計数を含みます。

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府や中央銀行の方針、法令、実務慣行および解釈に係る展開および変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。